

# Energy efficiency NEWS FLASH

(作成: SEAJ エネルギー効率利用専門委員会 独自の見解を含んでおり、内容を保証するものではありません。参考情報としてご利用下さい)

## 1) 件名

デシカント剤を使用した除湿空調技術

## 2) 内容

除湿剤の代表的なものとしてはシリカゲル剤、ゼオライト剤があるが、高温での再生が必要で、80～140℃以上の熱が必要とされている。新たに開発されたスポンジ酸化チタン除湿剤では、40～60℃程度の熱で再生可能で低温再生に適していると言う。

この素材を使用する事で、従来では利用が難しかった太陽熱温水やヒートポンプ等の凝縮熱や、工場排温水などの低温の熱を有効利用することができるため、省エネ化が望めると言うもの。

## 3) SEAJ コメント

温度を変えずに湿度だけを除去したい場合に、露点まで温度を下げ湿度を除去した後に温度を元に戻すと云う事を行っているが、デシカント剤を使用する事によって省エネ化を期待できる部分には、使用を検討して行く必要があると思われる。さらに、吸着した水分を排出されるための温度が低くてすむ素材が出てきた事から、各方面での使用が期待できると思われる。

## 4) 添付情報・資料

なし

## 5) 関連情報

なし

## 6) その他

なし

—以上—